

柏市視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画（柏市読書バリアフリー推進計画）（骨子案）

●章構成（目次）

章	内容
第 1 章	計画の概要
第 2 章	現状と課題
第 3 章	基本理念・方針
第 4 章	具体的施策
第 5 章	推進体制
第 6 章	指標・目標値まとめ
巻末	参考資料（統計資料）

第 1 章 計画の概要

1 計画策定の背景

読書は、知識の獲得や文化の享受，社会参加を支える基盤である。しかし，視覚障害や肢体不自由，発達特性，加齢など，様々な理由により一般的な印刷物による読書が困難な人が存在する。こうした状況を踏まえ，誰もが必要な情報にアクセスできる読書環境を整備することを目的として本計画を策定する。

（関連法令等）

- 読書バリアフリー法
- 国の基本計画
- 千葉県の取組

2 計画の位置づけ（柏市の関連計画）

本計画は、ノーマライゼーションの理念に基づき、障害の有無にかかわらず、誰もが読書に親しめる環境づくりを推進するものであり、上位・関連計画と整合を図りながら施策を展開する。

（関連計画）

- ノーマライゼーションかしわプラン
- 柏市子ども読書活動推進計画
- 柏市生涯学習推進計画

3 計画の対象者

本計画は、視覚障害者に限らず、その他の障害，加齢，発達特性，疾病等により，一般的な印刷物による読書が困難な人を対象とする。

4 計画期間

令和〇年度～令和〇〇年度（5年間）

第2章 柏市の現状と課題

1 特別利用登録者の状況

特別利用登録者として登録している利用者については次のとおり。

- 視覚障害
- 肢体不自由

2 柏市立図書館の読書環境

図書館の所蔵資料の種類や冊数、柏市立図書館以外の支援体制については次のとおり。

- 大活字本

- 点字本
- 電子書籍
- サピエ図書館の登録状況
- 音訳・点訳等のボランティア活動

3 柏市の課題

柏市としての課題については、次のとおり。

課題 1 アクセシブル資料の量，種類が十分ではない

課題 2 読書支援機器や設備が限られている

課題 3 読書困難者に向けたサービスの周知が不十分

課題 4 学校との連携が十分に図られていない

課題 5 支援人材（職員・ボランティア）の育成

※具体的な数値や詳細は巻末の「参考資料」に掲載する

第 3 章 基本理念と基本方針

1 基本理念

「誰もが読書を通じて学び続けられるまち・柏」

ノーマライゼーションの理念のもと，障害の有無にかかわらず，誰もが読書に親しめる環境を整備する。

2 基本方針

読書困難者のための読書環境を向上することを目指し，下記の方針を定め計画を推進する。

- アクセシブルな資料の計画的な充実
- 利用しやすい設備・機器の整備

- 読書困難者に向けたサービスの周知・啓発の推進
- 支援人材の育成と体制強化

第 4 章 具体的施策

柏市が抱える課題を解消し、読書困難者の読書環境を向上するための具体的施策については次のとおり。

施策 1 アクセシブルな書籍等の充実

- 大活字本の計画的整備
- 音声データの活用
- LL ブックの充実
- 電子書籍の拡充
- サピエ図書館の積極的活用

施策 2 利用しやすい設備（機器）の充実

- 対面朗読サービスの整備
- 郵送貸出サービスの推進
- 読書相談・レファレンスの強化
- 読書支援機器（例：プレクストーク等）の整備

施策 3 図書館サービスの周知・啓発活動

- ホームページの音声読み上げ対応
- 窓口・館内での案内掲示の改善
- ピクトグラムの効果的活用
- バリアフリー資料コーナーの設置
- サピエ図書館サービスの周知
- 啓発展示の実施

施策 4 子ども読書支援

- 学校等の団体への貸出におけるアクセシブルな資料のPR・貸出

施策 5 支援人材の育成

- 外部研修等への積極的参加

第 5 章 推進体制

本計画を推進するために、庁内外の関係各所とも連携・協力していく。

1 庁内連携先について（例）

（学校等への支援）

- 指導課

（庁内関係課）

- 障害福祉課

2 外部連携先について（例）

- 国立国会図書館
- 千葉県立図書館
- サピエ図書館
- 千葉点字図書館
- 地域ボランティア団体

第 6 章 指標・目標値まとめ

計画期間の 5 年間を評価する指標として、次の項目を定め、進捗管理を実施する。

施策	指標	目標値 (5 年間)	備考
施策 1：アクセシブル書籍の充実	アクセシブルな資料の貸出回数 サピエ図書館利用者数		※施策 3 にも関連
施策 2：設備・機器の充実	郵送貸出利用者数		
施策 3：サービス周知・啓発	啓発展示の実施回数		
施策 4：子ども読書支援	アクセシブルな資料の学校への周知，貸出回数		
施策 5：支援人材育成	職員研修参加人数		

巻末 参考資料（統計資料）

1. 特別利用登録者数
2. 1 のうち，前年度の貸出延べ人数・貸出冊数
3. 電子図書館タイトル数
4. 職員の研修参加状況（参加回数・延べ人数）